

教科	工業	科目名	機械システム実習(S)	単位数	3
学科	機械システム科	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	機械実習1・2・3(実教出版)				
副教材など					

1. 科目の目的

専門分野に関する基礎的な技術を実験・作業を通して総合的に習得させ、技術革新に対応できる能力と態度を育てます。

2. 授業の内容と進め方

Sコースの18名を3班に分けて編成し、1班に1名の指導者が当たる。各実習項目別で実習室に分かれ、1時間目は基礎知識や報告書の書き方等について説明します。2時間目以降は、実験・実習を行い、終了後は整理・整頓をします。報告書は次のテーマに入る前に提出します。

3. 学習する上での留意点

- 1) 安全については特に気を配ること。
- 2) 実習項目については、必ず予習・復習をすること。
- 3) 道具・その他、必要な教材を準備すること。

4. 課題等について

特に遅れている生徒については、課題を与えたり、補講を行ったりします。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	各実習項目について、基礎知識や関連知識について理解しているか。
思考・判断・表現	各実習項目について、理論・原理および操作方法が正しいかどうかを判断する能力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	学習意欲・態度、工業に関する基本的な技術や技能に興味・関心を持って行動できる能力を身につけているか。

6. 評価の方法

出席状況・実習に取り組む姿勢・報告書・作品・図面等から総合的に判断します。

《指導計画》 科目名 機械システム実習(S)

2 学年

3 単位

学期	パート	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
		実習項目		
	1	溶接 <ul style="list-style-type: none"> ・下向き、立て向き、隅肉(多層盛)、ガス切断、ガス溶接、ろう付け ・MIG、TIG溶接 ・プラズマ切断 	スパッター、スラグの飛散・感電・有害光線、 運棒速度(ノロの動き)、脚長、ストリングウィービング アセチレンガスの危険性、酸化 通常アークとプラズマの違い	レポート内容 意欲・態度 実技試験
	2	構造模型 <ul style="list-style-type: none"> ・船体模型の制作 	図面の見方 (船殻:第1角法 擬装:第3角法) 製作部位の研究、模型製作	レポート内容 意欲・態度 図面製作
	3	NC旋盤 <ul style="list-style-type: none"> ・Gコードについて ・機械操作 ・プログラム作成 	NC工作機械の概要を理解する。 プログラミング言語について学び、実際に簡単なプログラムを作成する。また、基本的な機械操作も習得する。	レポート内容 意欲・態度
	4	流体②・傾斜試験 <ul style="list-style-type: none"> ・模型箱船による実験 	模型箱船での傾斜試験等を行い、安定重心位置の、算出を行う。	レポート内容 意欲・態度
	5	汎用旋盤 <ul style="list-style-type: none"> ・旋盤の構造 ・作品制作 ・安全作業 	汎用旋盤の基本動作を理解する。 各種設定・条件を正しく設定する能力を身につける。 安全操作と方法を身につける。	
	6	3D-CAD <ul style="list-style-type: none"> ・3D-CADについて ・船体部分図の作成 	3D-CADの概要を理解する。 3Dの船体構造図を作成し、CADソフトの操作方法を理解する。	